

令和5年5月22日
子ども家庭局総務企画課
Tel 093-582-2280

子ども家庭局の主要施策

○「子育てしたくなる」環境づくり

地方から少子化対策を進めるため、未来への投資として、大胆な子育て支援や、妊娠・出産・産後の切れ目ない支援に取り組み、「子育てしたくなる」環境づくりを推進する。

○「子どもがイキイキ育つ」環境づくり

こどもまんなか社会の考え方に基づき、子どもたちが夢や希望を持ち、笑顔で健やかに「子どもがイキイキ育つ」環境づくりを推進する。

以上の基本的な考え方に基づき、3つの方向性に沿って重点的に取り組む。

【予算規模（当初予算比較）】

[一般会計]

(単位：千円)

令和5年度 当初予算 (A)	令和4年度 当初予算 (B)	(A)-(B)
73,657,361	70,879,152	2,778,209 (+3.9%)

○「子どもがイキイキ育つ」環境づくり

子どもに寄り添って育てる環境づくり

子どもの孤独・孤立への支援に取り組み、ヤングケアラーや不登校状態の子どもなど支援が必要な子どもや若者一人ひとりに寄り添った支援を推進する。

また、地域の子どもの居場所やスペース LABO など、子どもが健やかにイキイキと育つ環境づくりを進める。

【主な事業】

○ 新規 ヤングケアラー支援訪問事業	5,000 千円
○ 拡充 ヤングケアラー相談支援事業	14,000 千円
○ 児童虐待防止のための SNS 相談事業	15,900 千円
○ 社会的養護自立支援事業	25,839 千円
○ 拡充 不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業	17,000 千円
○ 拡充 子ども食堂開設支援事業	10,397 千円
○ スペース LABO（北九州市科学館）普及事業	180,800 千円

【令和5年度主要事業一覧】

1. 子育て環境の充実

- (1) **新規** 第2子以降の保育料完全無償化事業 **273,560千円**
家計に与える物価高騰の影響が大きいと見込まれる多子世帯を支援するため、令和5年12月から令和6年3月まで(予定)の第2子以降の保育料無償化を実施する。
※市が直接徴収している保育料収入の減(153百万円)と合わせ、427百万円を支援
- (2) **新規** 病児保育事業(利用料無償化) **14,200千円**
保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭などやむを得ない事由により、家庭での保育が困難な、病氣中、病氣回復期にある概ね生後3か月～小学6年生までの児童を一時的に預かる病児保育利用料の無償化を実施する。
- (3) **子ども医療費支給事業** **3,217,000千円**
子育てに関する経済的負担を軽減し、子どもの健康の保持とすこやかな育成を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成する。
- (4) **拡充** 私立幼稚園特別支援教育助成事業 **78,600千円**
私立幼稚園における特別支援教育の充実及び要支援児の就園先の更なる確保を図るため、要支援児の受入に積極的に取り組む園を「サポート園」として支援する。
- (5) **新規** 子ども・子育て環境づくり推進事業 **8,000千円**
未来への投資として子育て環境の充実を図るため、地域で子どもを育てる『子ども憲章』の制定や、子育て支援の方向性を示す『子どもプラン』の策定に着手する。
- (6) **若年層保育士に対する処遇改善事業** **23,000千円**
保育人材の安定的な確保等を図るため、民間保育所等が経験年数3年未満の若年層保育士に対し、就職時準備金や処遇改善手当を給付した場合の費用を助成する。

2. 妊娠・出産・産後の切れ目ない支援

- (1) **きたきゅうベビー応援事業** **352,000千円**
妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援を一体として実施する。

(2) 妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業 **85,506千円**

妊娠・出産・産後の時期を健やかに過ごし、母子の健康を確保するため、産後ケアや産婦健康診査、産前産後のヘルパー派遣等、出産前後における切れ目ない支援を実施する。

(3) 拡充 ICTを活用した妊娠・出産・子育て期にかかる手続効率化事業 **25,090千円**

きたきゅう子育て応援アプリを活用した乳幼児健康診査等手続きのICT化を推進し、利用者の負担軽減を図るとともに、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施する。

3. 子どもに寄り添って育てる環境づくり

(1) 新規 ヤングケアラー支援訪問事業 **5,000千円**

ヤングケアラーとなっている子どもやその家族の負担軽減及び子どもの健全育成、児童虐待防止を図るため、ヤングケアラーがいる世帯に対し、家事や育児支援を実施する。

(2) 拡充 ヤングケアラー相談支援事業 **14,000千円**

ヤングケアラーの早期発見や支援のため、相談窓口の体制を強化し、ヤングケアラーの心のケアや、関係機関と連携し様々な支援サービスへ繋げることでケアの負担軽減を実施する。

(3) 児童虐待防止のためのSNS相談事業 **15,900千円**

児童虐待の未然防止や早期発見の観点から、子どもや保護者自身がより相談しやすくなるよう、SNSを利用した相談を実施する。

(4) 社会的養護自立支援事業 **25,839千円**

児童養護施設等を退所した子どもの生活の自立を促進するため、居住費や生活費の一部支援や退所後のアフターケアを実施する。

(5) 拡充 不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業 **17,000千円**

不登校状態にある中学生が卒業後に孤立してしまうことがないように、NPO法人等に委託して、公認心理師等による定期的な家庭訪問を実施し、一人ひとりに寄り添った伴走型支援を実施する。

(6) 拡充 子ども食堂開設支援事業 **10,397千円**

地域のニーズに沿った、持続可能な子ども食堂の取り組みを支援するため、地域・企業・各団体・学校等と連携を深めながら、開設や運営のサポートを実施する。

(7) スペースLABO (北九州市科学館) 普及事業

180,800千円

令和4年春にオープンにしたスペースLABO(北九州市科学館)について、将来を担う技術系人材の育成を図り、修学旅行生や観光客も呼び込むことで東田地区全体の賑わいに寄与し、より効率的で魅力ある施設として運営

★担当課一覧

事業名	担当課	電話番号
1. 子育て環境の充実		
(1) 第2子以降の保育料完全無償化事業	幼稚園・こども園課 保育課	093-582-2550 093-582-2412
(2) 病児保育事業（利用料無償化）	保育課	093-582-2412
(3) 子ども医療費支給事業	子育て支援課	093-582-2410
(4) 私立幼稚園特別支援教育助成事業	幼稚園・こども園課	093-582-2550
(5) 子ども・子育て環境づくり推進事業	総務企画課	093-582-2280
(6) 若年層保育士に対する処遇改善事業	保育課	093-582-2412
2. 妊娠・出産・産後の切れ目ない支援		
(1) きたきゅうへビー応援事業	総務企画課	093-582-2280
(2) 妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業	子育て支援課	093-582-2410
(3) ICTを活用した妊娠・出産・子育て期にかかる手続効率化事業	子育て支援課	093-582-2410
3. 子どもに寄り添って育てる環境づくり		
(1) ヤングケアラー支援訪問事業	子育て支援課	093-582-2410
(2) ヤングケアラー相談支援事業	子育て支援課	093-582-2410
(3) 児童虐待防止のためのSNS相談事業	子ども総合センター	093-881-4556
(4) 社会的養護自立支援事業	子育て支援課	093-582-2410
(5) 不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業	青少年課	093-582-2392
(6) 子ども食堂開設支援事業	子育て支援課	093-582-2410
(7) スペースLABO（北九州市科学館）普及事業	科学館普及課	093-671-4566